



①長期浸水した新栄町方面 ②自衛隊による犠牲者の捜索 ③屋根がなくなった半田中学校講堂 ④堤防に漂着した貨物船

半田市の被害の状況

被害総数	9,511戸、9,560世帯、43,723人(当時の全人口の62%)
人的被害	死亡291人、重傷92人、軽傷572人
家屋被害	全壊938戸、半壊1,963戸、流失511戸、床上浸水1,918戸、床下浸水4,181戸
被害総額	103億4,300万円(当時の金額)

昭 和34年9月26日夜、当地方を襲った伊勢湾台風(台風15号)は、愛知県や三重県に未曾有の被害をもたらしました。

台風の勢力は、半田市西方を通過時、中心気圧940hPaとなり、最大瞬間風速は60メートルを超えたとみられます。

半田市にとって、最悪のコースと時間であったため、暴風と高潮で瞬時に沿岸地帯に甚大な被害を生み出した。衣浦港では、観測史上最高の3.2メートルを記録した高潮により、堤防が決壊しました。冠水地域は、家屋の倒壊流失により一瞬にして変わり果て、多くの人命が失われました。

一方で、地元はもちろん全国各地から「助け合い」の温かい心による義援金品が続々と届けられました。このような多くの支援があつて、今の半田市があることを、私たちも心に留めておかねばならないのではないのでしょうか。